

春風をだどつて

4 時間目

名前 _____
年 組 番 _____

気持ちかわかる言葉に着目して、ルウの気持ちのへん化や理由を考えよう。

① 物語が進むにつれて、「ルウ」はどのようにかわったでしょう。
次の2つ(④⑤)について教科書の言葉に着目して、表に整理しながら書きましよう。

理由は、物語のできごとや「ルウ」の物の見方などから考えましよう。

	はじめ	りゆう	おわり
A 「ルウ」への気持ち	「あまリ話したことをい」 教科書の言葉に とあるように (「ルウ」の仲を深められた) 気持ちだつたが、	(ルウが春におに「ルウ」の気持ちが いって、すてきな海がある ちへ進む「ルウ」にゆめをついて、 たぐらとてもある海色の 花畑を見つけた) から、	「ルウ」の「あま」 とあるように (「ルウ」を想像するに思ふ) 気持ちになつた。
B 見なれた森への気持ち	「しんはくで、にの森」 教科書の言葉に とあるように (あまて、のまのな) 気持ちだつたが、	(ルウ一人だけ、たう気があつた。 「もなか」があまのあつた しまでいたが、しんはくは、 あまて、に海色の花畑を見 けることばで、(感動文) から、	「ぼくの知らない森」 とあるように (森の中にも、とろがある) 気持ちになつた。

② 今日の学習をふりかえり、物語を一文にまとめましよう。

見なれた森やおどろした「ルウ」におもしろくない気持ちだつた「ルウ」が、
すてきな海があるちへ進む「ルウ」にゆめをついて、
森の中にも、しんはくした、海色の花畑を見つけたこと、
「ルウ」の森を「すてきな」思つて、期待しながら、わくわくする(なる)話。